

美し国 三重 桑名

六華苑 春の舞楽会

2025/4/26(土)-27(日)

午前の部 10:30~
午後の部 13:00~

格式高い「管絃舞楽」

「天は円、地は方」の舞台
入場無料 (入苑料460円必要)

さほうひらまい 春鶯囀一具
左方平舞

六華苑 (旧 諸戸清六 邸) / 鹿鳴館で有名なジョサイア・コンドル設計による4層塔の洋館と
材木商の諸戸家が贅を極めた和館に池泉回遊式庭園などがある近代文化遺産 (国重要文化財・名勝)

駐車場に限りがありますので、公共交通機関も御利用ください。当催事は、桑名市文化協会会員の公演です。多度大社の神事ではありません。

アクセス: 三重県 桑名市 桑名 663 番の 5 (TEL0594-24-4466)

➡ <鉄道> 近鉄・JR桑名 (名古屋⇒20分) から徒歩 20分

➡ <自動車> 東名阪桑名東 又は 伊勢湾岸桑名ICから 15分

日本の心を音楽と舞で伝える

雅楽



うさぎひらまい さほうひらまい
右方平舞 : 舟楽 狛梓



うさぎひらまい さほうひらまい
右方平舞 : 皇仁庭



応募先

企業メセナ協議会助成認定事業

税制優遇の寄付へご協力ください

問合せ: 田中松緑
TEL0594-48-3484




「管絃」オーケストラ形式の本格演奏

主催: 多度雅楽会

共催: 六華苑

国名勝庭園の雅楽を未来へ 寄付者募集

六華苑舞楽会は、昨年20周年。国名勝庭園にて地元の児童や学生も活躍して、伝統の音楽と舞を伝えています。次の継承に向けて新たな舞台に挑戦。税制優遇の寄付者（企業5万円以上／個人1万円以上）を募集しています。なお、税制優遇を受けるためには、確定申告が必要です。

ご協力いただける皆様は、企業メセナ協議会のサイトから、直接ご応募ください。（こちらから⇒  ）

今回の予定演目（みどころ・きどころ）

舞楽は、左方と右方の番舞の格式が高く、童舞（つがいまい 迦陵頻・かりょうびん 胡蝶）平舞（わらべまい 萬歳楽・ひらまい 延喜楽）走舞（まんざいらく 陵王・えんぎらく 落躰）の王道は、2007年初演以来。走舞は、古い面の現代にはない色彩が観どころ。

大曲「新鳥蘇」（2017年初演）は、管楽器の序曲（納序・古弾）が聴きどころ。 右方平舞 新鳥蘇

左方平舞 萬歳楽

右方平舞 延喜楽

左方童舞 迦陵頻

右方童舞 胡蝶



走舞 陵王と落躰の古面



多度雅楽会チャンネル



チャンネル登録をお願いします。



たど 多度雅楽会

上げ馬神事で有名な多度大社の歴史は古く、その雅楽は奈良時代に遡り、江戸時代に雅楽を愛好した松平定信の後裔が桑名藩にて継承しました。多度雅楽会は、その由来ある三重県桑名市と東京都江東区を拠点として、雅楽を伝える活動と公演を続けています。「文化芸術による創造のまち」文化庁支援事業（平成19-20年度）の実績をもとに、大太鼓の本格舞台にて「舞楽の大曲」や「御神楽一具」等の継承にも取り組んでいます。桑名市文化協会の活動ほか、春秋定演（六華苑舞楽会）、東京の新春公演、富岡八幡宮例大祭奉納など、地域の人々との交流を大切にしており、近年では、都立浜離宮恩賜庭園「船上雅楽」初演、小石川後楽園「百年記念舞楽」等、庭園上演にも協賛。（<http://www.tadogagaku.com/>）



会員募集中 初心者も経験者も、出演希望の方なら歓迎です。お気軽にご連絡ください。

稽古場所：六華苑・桑名宗社等（週末、桑名市）又は 東京 富岡八幡宮（火・木曜、江東区）



< 主演と解説 >

たなか しょうろく 田中 松 緑



多度大社の地元生まれ育ち、家系の流れで中学のころから雅楽を奏で舞い続けている。「多度雅楽会」の代表として子供たちにも雅楽を伝え続けながら芸術性を追究しており、平成25年には文化庁の地域伝統文化功労者に選ばれた。ユネスコ文化遺産となった石取祭で有名な桑名宗社（春日神社）で中世から伝わる例大祭の神事（桑名市無形文化財）を主導する等、地域の祭礼に奉仕するほか、芸術家として、毎年春秋に全国でも上演が稀な名曲を多数公演している。

